

# 森林セラピー認定へ視察

安芸太田で  
実験担当者

## 「癒やし効果十分ある」

安芸太田町の「森林セラピー基地」認定に

が認定する。

を訪ねた。  
2人はコナラやミズ

ナラなどの広葉樹林を歩き、鳥のさえずりや川のせせらぎに関心を示した。宮崎教授は「癒やし効果は十分にある。実験データが物語るはず」と話した。

拍数などを計測。結果を比較分析し、リラックスマッサージの有無を検証する。  
セラピー基地には現在、全国44力所が認定されている。町が認定されれば県内で初めてとなる。町は近くヘルスツーリズム事業の推進母体となる官民協議会を設立する方針。基地認定に合わせて体験メニュー開発や食、農村文化の発信を強め、観光客誘致を図る考え

町内を視察した。基地化は町が本年度から展開するヘルスツーリズム推進事業の一環。実験は8月9、10の両日を予定し、結果を基にNPO法人森林セラピー

NPO法人の委託を受けた千葉大環境健康フィールド科学センターの宮崎良文教授（森林医学）と独立行政法人森林総合研究所（茨城県つくば市）環境計画研究室の香川隆英室長が、町内の実験場所となる深入山と三段峽



癒やし効果の実証実験に向け、深入山を視察する宮崎教授（右）と香川室長  
実験は学生12人が被験者となる。同町と広島市中区紙屋町周辺で、座った状態や歩行後の血圧や心拍数、脈

（胡子洋）